

草引きのかわいい「あいがも」が 米づくりに大活躍!!

～安心・安全で美味しい米づくり～
京北地域 中江町あいがもグループ



合鴨効果で
すっきり除草



合鴨が入れないように
網で囲った所は雑草がピッシリ



人馴れするまでは、夕方に飼育小屋に連れ戻すのが大変！
でも、飼いに馴れると、とても可愛らしい働き者。
雑を担う、カラス害対策は不可欠。



左から中江町あいがもグループ杉本さん、小谷口さん、岩本さん

杉本さんは、手はかかるが、可愛い「あいがも」も育てられるし、安心安全でおいしいお米も取れるすばらしい農法。都会にいる孫は私を「ガアガアじいちゃん」と呼んでいますと目を細めておられました。種々苦労もあるようですが「癒し」を感じながら、安心安全な米づくりができる農法の実践グループとして今後益々の御活躍を期待いたします。

取材：仲間編集委員

全国あいがも水稻会の事務局長として活躍された経験もある、中江町あいがもグループの杉本良雄さんに話を伺いました。

平成5年に農家組合で視察した広島県の「あいがも農法」の素晴らしさに感動し、翌年から「中江町あいがもグループ」を結成して取組をスタート。当初は、「無農薬米」「あいがも肉」を「売り」に水稻のオーナー制を導入し、多い年には、80名を超える応募があったそうです。

現在、中江町あいがもグループでは、3戸の農家が計約2haの水田に約300羽のあいがもを放鳥して水稻の無農薬栽培に取り組んでいます。

あいがもは、肉質が良いと評判のイギリス産「チェリバレー」という品種で、田植え直後の5月中旬頃から放鳥され、稲が生長し、水田の雑草もほぼなくなる7月初旬以降には加工専門業者に引きとられ、そこで1月間飼育された後に精肉加工されます。

あいがもの活躍で、無事収穫された無農薬のお米は「あいがも米」として、予約注文先や地元のイベント等で販売され、大変好評を得ているそうです。

農地のことは
農業委員会へ!

所在地:京都市中京区寺町通御池下る下本能寺前町522本能寺文化会館2階
TEL:075 (212) 9050,FAX:075 (212) 9084
京北窓口/所在地:京都市右京区京北周山町上寺田1-1 京北合同庁舎1階
TEL:075 (852) 1825,FAX:075 (852) 1827

ホームページアドレス

<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/32-11-0-0-0-0-0-0-0.html>



この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ!

京都市農業委員会 平成27年9月発行

京都市 第33号 農委だより



がんばっている農業者

山科区勧修寺 はいから園 林光男さん

山科区勧修寺で35年前から地域の伝統野菜の「山科なす」を2アール栽培され、京都市から種子保存を委託されている林光男さん。

山科なすは、果皮が薄くて肉質はとても軟らかく、加熱するととろけるような食感が特徴ですが、実生では樹勢が弱く、水分量が不足すると艶を失い、土質によって「電球型」の実にならないこともあり、栽培や良質の種の採取には手間と工夫が必要だそうです。

研究熱心で「毎年が勉強!」と試行錯誤される林さんは、地域の若い生産者に苗の提供や栽培技術を伝授するなど、山科なすの生産振興に御尽力なされています。

また、長年続けている小学校の総合学習での指導では、「裸電球」を知らない世代の子供たちに「山科なすの形は卵型だよと教えているんだ。」と話す林さんからは、自然と笑みがこぼれます。

地域の伝統野菜「山科なす」を継承していくため、良質の種を採取し、栽培技術や魅力を惜しみなく伝える取り組みを続けている林さんに、今後、益々の御活躍を期待いたします。

もくじ

- *がんばっている農業者(林光男さん 山科区勧修寺)..... 1
- *農業委員会の掲示板(農地の賃借料情報ほか)..... 2,3
- *農業の6次産業化 松ヶ崎の花菜漬(中川助嗣さん、理恵さん 左京区松ヶ崎)..... 3
- *安心・安全で美味しい米づくり(中江町あいがもグループ 右京区京北)..... 4